



令和3年5月21日

校長室から

No. 3

今回は、「くすのき教室」のことについてご紹介します。

くすのき教室とは、どのような教室なんですか？



光華小学校には、「くすのき教室」という学級があります。これは、昭島市全小中学校にある「特別支援教室」というものです。特別支援教室は「拠点校」と「巡回校」があります。「拠点校」とは、中心的な役割を果たす学校のことです。光華小学校もその1校です。光華小学校を拠点として、中神小学校・成隣小学校・田中小学校に行き指導をします。これらの学校を「巡回校」と呼びます。市内の小学校の拠点校には、東小学校・つつじが丘小学校・拝島第三小学校があります。

「特別支援教室」には、どのような子供たちが通っているのでしょうか？



くすのき教室は、**学校における集団生活にうまくなじめない子供たちに、自信をもって楽しく学校生活ができるような援助の手だてを考え指導する場所**です。週に1～4時間程度くすのき教室に行き「個別の指導」や「集団の指導」を受けることになります。

「**集団生活にうまくなじめない子供**」というのは、別に「**障害がある**」ということではありません。例えば、以下のような場合があります。

- ・ 友達に関心を示さない。
 - ・ 友達と関わるのが難しい。
 - ・ みんなと一緒に行動ができない。
 - ・ 会話が成り立ちにくい。
 - ・ 周りに気をとられやすい。
 - ・ 落ち着きがなく、いつも体が動く。
 - ・ 好きなことが限られている。
 - ・ ものごとの順序などにこだわる。
 - ・ ささいなことでかんしゃくをおこす。
 - ・ 学習や運動などで部分的な遅れがある。
 - ・ 約束ごとが理解できない。
 - ・ 音が気になって集中できない。
 - ・ 初めてのことに不安を感じる。
 - ・ 自分に自信がもてない。
 - ・ 人のことが気になってしまう。
 - ・ 勉強の仕方が分からない。
 - ・ 家ではよく話をするが、学校などではほとんど話をしない。
- など

私たちはこれらのことを「**困り感を感じている子供**」として捉え、個別に指導をすることでよりよい改善ができるようにしたいと考えています。もちろん、教室を抜けて指導を受けますが、教室でいやなことを我慢しながら過ごすより、自分の苦手なことを理解し、うまくできる方法を身に付けて、教室で楽しく過ごせるようにする方が大切だと考えています。ですから、できれば低学年のうちに「困り感」に気付き、できるだけ早く集団で学ぶ環境に慣れるようになり、毎日学級で楽しく過ごせるようになることを目指しています。

では、実際にどのような指導を受けているのでしょうか？



指導の内容は、子供たちの様子によって個別に考えていきますが、大きくまとめて分類すると以下のような指導になります。

- ◎ コミュニケーション能力を伸ばし、人と楽しく関われるようにする。
- ◎ 望ましい生活習慣を身に付け、安定した気持ちを育てる。
- ◎ 勉強や運動に集中し、姿勢を保持するために必要な基礎的な筋力・体力・バランス感覚・リズム感・体幹を向上させる運動を行う。
- ◎ 個に合わせた学習を行い、生活の振り返りや気持ちのコントロール、教科等の学び方などを学ぶ。
- ◎ 得意なところを伸ばし、学校生活に対する意欲を高める。 など

【お子さんのことで気になる方は】

- まずは、担任の先生に相談してください。
- その他にも、**スクールカウンセラー**の先生に相談することもできます。
※ **スクールカウンセラーの先生は、月曜日に出勤しています。副校長先生に予定を確認して、予約することができます。**
- **くすのき教室の相談会**も行っています。基本的には、土曜授業の日に行っています。直接、くすのきの先生に相談することもできますので、ご活用ください。（お知らせも配布しますが、直接学校に問い合わせさせていただいてもかません。）



【各教室での理解教育】

- クラスの友達に、くすのき教室で指導を受ける子供たちのことを理解してもらえるように、毎年「理解教育」の時間をとっています。
- くすのきに通う子供たちは、苦手なことがあるので、それを上手にできるように、くすのき教室で勉強をしていることを具体的に伝えます。
- 「僕にも苦手なことがあるから通ってみたい」という意見が聞かれることもあります。

